

## 事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	青森県	関係市町村	今別町、大間町
事業名	水産資源環境整備事業（水産環境整備事業）		
地区名	イマベツ 今別	事業主体	青森県

## I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	-	漁場名	今別東部、大間
陸揚金額	2,808 百万円	陸揚量	4,036 トン
登録漁船隻数	- 隻	利用漁船隻数	995 隻
主な漁業種類	一本釣り漁業、小型定置網漁業、棒受け網漁業等	主な魚種	ウスメバル、ヤリイカ、イカナゴ等
漁業経営体数	549 経営体	組合員数	1,030 人
地区の特徴	当地区は、今別東部漁場と大間漁場で形成されており、今別東部漁場は、ウスメバルの回遊経路上である陸奥湾の湾口部に位置し、ウスメバル等を対象とした一本釣り漁業の他に、ヤリイカ等を対象とした小型定置網漁業が盛んに行われている。大間漁場は、日本海、陸奥湾、太平洋それぞれを往来する魚介類の移動経路に位置し、代表的な「大間マグロ」のほか、多種多様な魚介類が漁獲される好漁場が形成されている。		
2. 事業概要			
事業目的	近年、漁獲量が減少傾向にあり、県の資源回復計画の対象種となっているウスメバルの生活史を踏まえ、産卵場・稚魚の保護・育成場となる増殖場と成魚を対象とした魚礁漁場を一体的に整備することで、水産資源の増大を促し、一本釣りや小型定置網、刺網等の漁獲量の安定・増大を図る。		
主要工事計画	増殖場（着定基質工）13.56ha、魚礁（魚礁工）71,916空m3		
事業費	2,252百万円	事業期間	平成23年度～令和元年度

## II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化				
<p>本事業では、平成22年度に事前評価を実施し、経済効果の妥当性について評価を行った。漁業経費率が約1.5倍に増加した一方、年間発生便益額は、一部魚種の単価が上昇したことに伴い、増加した。このため、費用便益比率は平成22年度の1.32から令和5年度の1.12へと減少している。</p>				
2. 事業効果の発現状況				
<p>本事業による増殖場及び魚礁の整備により、施設周辺での水産物の蜻集効果が見られているほか、ウスメバルやタイ類の漁獲量は減少傾向から増加傾向へと変化しており、ソイ類の漁獲量は計画着手前の漁獲量と比べ、約16トン増加しており、当該地域における漁獲可能資源は回復の傾向にある。加えて、現時点での費用対効果分析の結果は1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。</p>				
3. 事業により整備された施設の管理状況				
<p>青森県漁港漁場整備事業漁場管理規程に基づき、事業主体である青森県と大間・佐井地区人工礁等漁場造成事業推進及び管理運営協議会、そして三厩沖人工礁管理運営協議会との間で管理委託契約を締結し、適正な施設の管理が行われている。</p>				
4. 事業実施による環境の変化				
<p>増殖場の整備に伴い、ウスメバル等の水産資源の育成場を創出した。 魚礁漁場の整備に伴い、ウスメバルや、ソイ類、ヤリイカ等の成魚の生息場や効率的な漁獲の場を創出した。</p>				
5. 社会経済情勢の変化				
<p>当地区の漁協組合員数は平成22年には1,293人であったが、高齢化や人口減少といった問題があり、令和4年には1,030人に減少しているものの、水産業は、引き続き地域の基幹産業として重要な役割を果たしている。</p>				
6. 今後の課題				
<p>当該地区では、回遊性魚種等の漁獲量の低迷が続いており、特に近年のスルメイカ漁獲量の減少傾向が著しく、漁業経営の厳しさが一層増しており、代替漁業として沿岸性魚種を対象とする漁業がへ転換が進むことで、沿岸性魚種の漁獲圧が高まることが想定される。このため、沿岸性魚種の資源増大と効率的な漁獲による漁業経営の安定・向上を目的に、アイナメ、ソイ・メバル類、ヤリイカなどの生活史に応じ、稚魚の育成場となる浅海域の「藻場」をはじめ、同じくヤリイカの産卵場や幼魚の育成の場となる中層域の「幼魚育成場」、成魚の生息場や効率的な漁獲の場となる沖合域の「魚礁漁場」を一体的に整備する必要がある。</p>				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成22年評価時の 費用便益比B/C	1.32	現時点の B/C	1.12	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

## III 総合評価

本事業では、近年、主要な水産物の漁獲量が減少傾向にあることから、当該海域の生産力向上を図るため、沿岸性魚種の産卵や幼魚の育成場となる増殖場及び成魚の生息場となる魚礁を整備したところ、ウスメバルやタイ類の漁獲量は減少傾向から増加傾向へと変化しており、ソイ類の漁獲量は計画着手前の漁獲量と比べ、約16トン増加している等、当該地域における漁獲可能資源は回復の傾向にある。また、貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、1.0を超えており、経済効果についても確認されている。以上の結果から、本事業は当地区において、水産資源の増大及び漁業経営の安定・向上に寄与したものとなっており、想定した事業効果の発現が認められた。

## 費用対効果分析集計表

## 1 基本情報

都道府県名	青森県	地区名	イマベツ 今別
事業名	水産環境整備事業	施設の耐用年数	30年

## 2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	1,519,647
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果			3,151,669	千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果		千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果	1,031,201	千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	5,702,517	千円
総費用額（現在価値化）		C	5,110,875	千円
費用便益比		B / C	1.12	

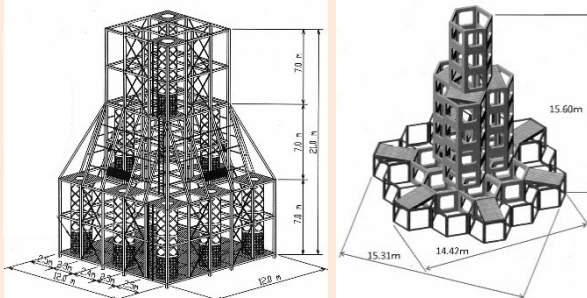
## 3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

・ 餌料培養構造物による生産量増加効果

# 今別地区水産環境整備事業 事業概要図 【整理番号9】

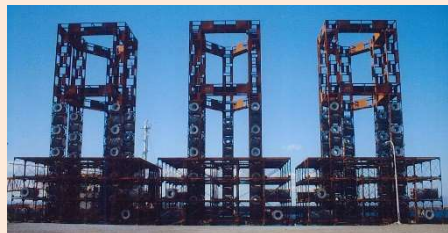
## ◆: 増殖場

ウスメバル親魚の生息場・産仔場となる育成礁を設置



## ●: 魚礁

ウスメバル等の魚類の成魚の生息場となり、蛸集させる漁獲効率の高い漁場を形成するための魚礁を設置。

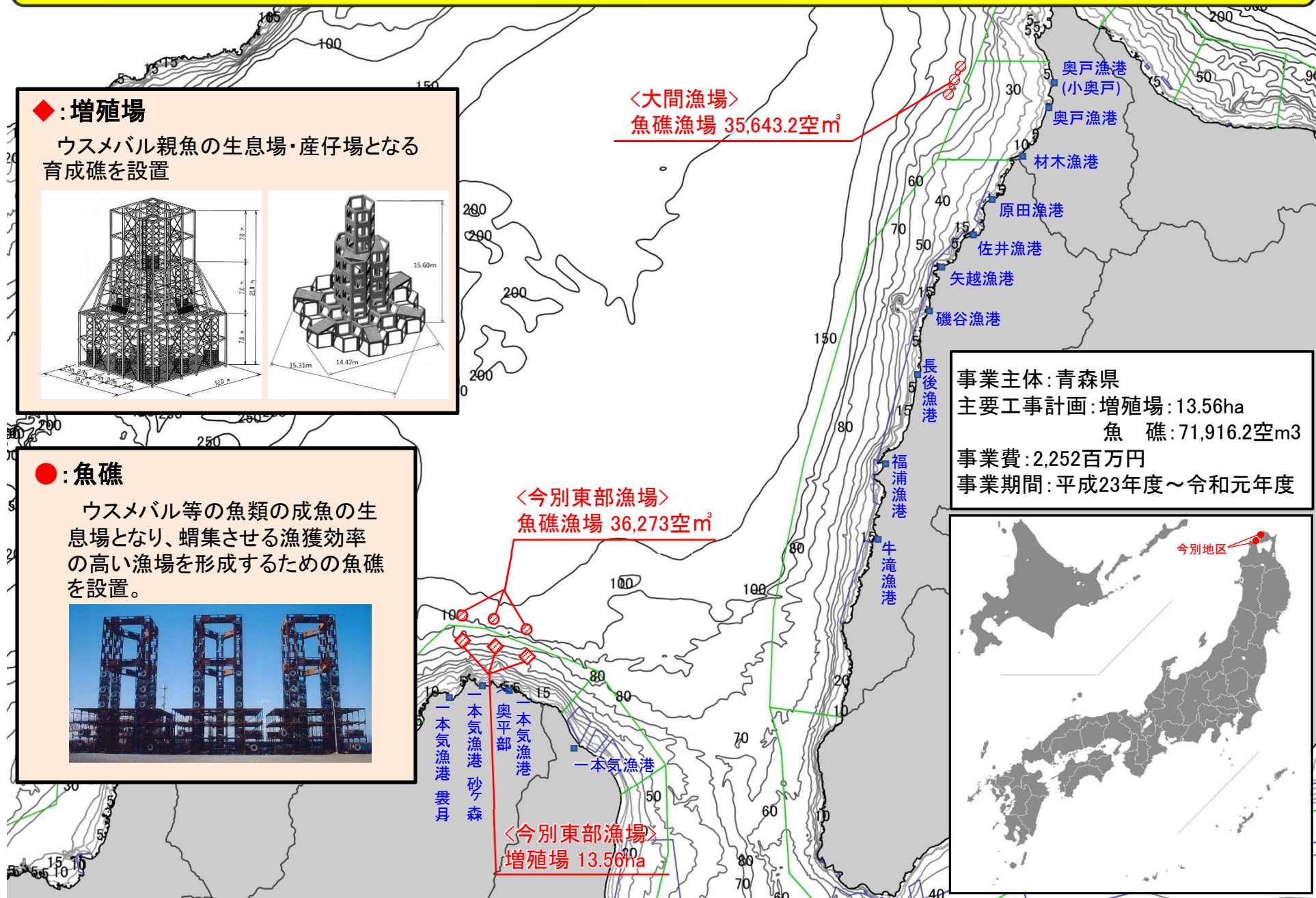
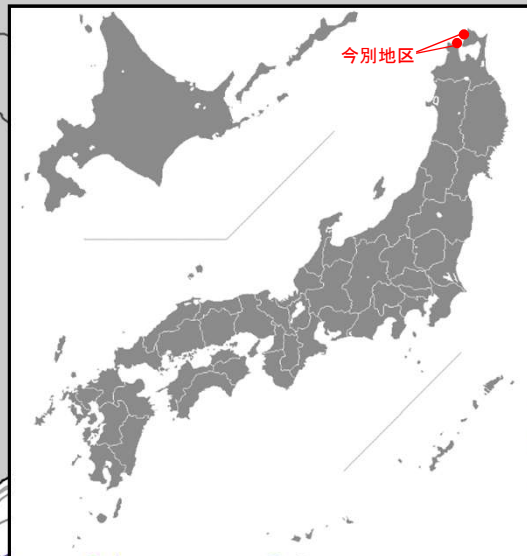


〈大間漁場〉  
魚礁漁場 35,643.2空<sup>3</sup>m

〈今別東部漁場〉  
魚礁漁場 36,273空<sup>3</sup>m

〈今別東部漁場〉  
増殖場 13.56ha

事業主体: 青森県  
主要工事計画: 増殖場: 13.56ha  
魚礁: 71,916.2空<sup>3</sup>m  
事業費: 2,252百万円  
事業期間: 平成23年度～令和元年度



事業の効用に関する説明資料（今別地区水産環境整備事業）

1. 事業概要

- (1) 事業目的： 近年、漁獲量が減少傾向にあり、県の資源回復計画の対象種となっているウスメバルの生活史を踏まえつつ、産卵場・稚魚の保護・育成場となる増殖場と成魚を対象とした魚礁漁場を一体的に整備することで、近隣の資源増大を促し、一本釣りや小型定置網、刺網等の漁獲量の安定・増大や操業の効率化による漁業経営の向上を図り、沿岸漁業の振興に資する。
- (2) 主要工事計画： 増殖場（着定基質工）13.56ha、魚礁（魚礁工）71,916空<sup>3</sup>
- (3) 事業費： 2,252百万円
- (4) 工期： 平成23年度～令和元年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（令和7年6月改定 水産庁）及び同「参考資料」（令和7年6月 水産庁）等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	5,110,875（千円）
総便益額（現在価値化）	②	5,702,517（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.12

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
増殖場	13.56ha	1,112,597
魚礁	71,916空 <sup>3</sup>	1,138,913
計		2,251,510
維持管理費等		0
総費用（消費税込）		2,251,510
内、消費税額		132,537
総費用（消費税抜）		2,118,973
現在価値化後の総費用		5,110,875

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額（千円）	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		56,189	・航行時間の削減に伴う労務費・燃料費の削減
漁獲可能資源の維持・培養効果		116,533	・生産量の増加効果
漁業外産業への効果		38,129	・出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果
計		210,850	

(4) 総便益算出表

評価期間	年度	割引率 ①	デフ レータ ②	費用 (千円)			便益 (千円)				割引後 効果額合計 (千円) ①×④
				事業費 (維持管理費含む) ③	事業費 (税抜) ③	現在価値 (維持管理費含む) ①×②×③	水産物生産 コストの削減 効果益額	漁獲可能資源の維 持・培養効果	漁業外産業への効 果	計 ④	
-15	H22	1.801	1.572								0
-14	H23	1.732	1.630	101,350	96,524	272,503					0
-13	H24	1.665	1.573	640,000	609,524	1,596,371	2,560	5,308	1,737	9,605	15,992
-12	H25	1.601	1.579	553,000	526,667	1,331,403	18,722	38,829	12,705	70,256	112,480
-11	H26	1.539	1.510	256,000	237,037	550,848	32,688	67,793	22,181	122,662	188,777
-10	H27	1.480	1.484	202,918	187,887	412,660	38,973	80,829	26,447	146,249	216,448
-9	H28	1.423	1.484	312,721	289,556	611,465	43,956	91,162	29,827	164,945	234,716
-8	H29	1.369	1.446	156,521	144,927	286,894	51,634	107,086	35,038	193,757	265,254
-7	H30	1.316	1.401	22,000	20,370	37,556	55,477	115,056	37,645	208,178	273,963
-6	R1	1.265	1.363	7,000	6,481	11,175	56,017	116,176	38,012	210,205	265,910
-5	R2	1.217	1.342				56,189	116,533	38,129	210,850	256,605
-4	R3	1.170	1.295				56,189	116,533	38,129	210,850	246,695
-3	R4	1.125	1.191				56,189	116,533	38,129	210,850	237,206
-2	R5	1.082	1.070				56,189	116,533	38,129	210,850	228,140
-1	R6	1.040	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	219,284
0	R7	1.000	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	210,850
1	R8	0.962	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	202,838
2	R9	0.925	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	195,036
3	R10	0.889	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	187,446
4	R11	0.855	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	180,277
5	R12	0.822	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	173,319
6	R13	0.790	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	166,572
7	R14	0.760	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	160,246
8	R15	0.731	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	154,131
9	R16	0.703	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	148,228
10	R17	0.676	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	142,535
11	R18	0.650	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	137,053
12	R19	0.625	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	131,781
13	R20	0.601	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	126,721
14	R21	0.577	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	121,660
15	R22	0.555	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	117,022
16	R23	0.534	1.000				56,189	116,533	38,129	210,850	112,594
17	R24	0.513	1.000				53,629	111,224	36,392	201,245	103,239
18	R25	0.494	1.000				37,467	77,704	25,424	140,594	69,454
19	R26	0.475	1.000				23,501	48,740	15,947	88,188	41,889
20	R27	0.456	1.000				17,215	35,704	11,682	64,601	29,458
21	R28	0.439	1.000				12,233	25,371	8,301	45,905	20,152
22	R29	0.422	1.000				4,555	9,447	3,091	17,093	7,213
23	R30	0.406	1.000				712	1,477	483	2,672	1,085
24	R31	0.390	1.000				172	356	117	645	252
25	R32	0.375	1.000				0	0	0	0	0
計				2,251,510	2,118,973	5,110,875	1,685,665	3,495,980	1,143,857	6,325,501	5,702,517

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

## 3. 効果額の算定方法

## (1) 水産物生産コストの削減効果

成魚の生息場や効率的な漁獲の場として魚礁を整備することで、航行時間を短縮させ、操業の効率性を向上させた。

## ア 漁業者の労務時間の削減

## (i) 今別東部地区

区分		備考
平均延べ出漁日数(人・日/年)	①	7,132 ・年間の水揚げ回数：3,566隻・日/年(R4～R6平均) (TAC(漁獲管理情報処理)システムより今別東部地区) ・平均乗船人数：2人 (漁協ヒアリング調査、令和7年5月)
人工魚礁利用率	②	0.759 魚礁利用率：75.9% (H26～H28年度 今別地区魚礁漁場効果調査業務委託)
短縮航行距離(km)	③	15 地区内漁港から天然漁場までの距離－地区内漁港から人工魚礁までの距離
漁船航行速度(km/hr)	④	30 調査日：令和7年5月 調査場所：対象地区内漁協 調査対象者：漁協職員 調査実施者：県職員 調査実施方法：ヒアリング調査(漁船航行速度)
短縮航行時間(時間/日)	⑤	1.00 ③÷④×2(往復)
労務単価(円/h)	⑥	1,658 令和5年漁業経営調査報告(日本海北區、大臣官房統計部、令和6年9月、農林水産省)から算定
年間便益額(千円/年)	⑦	8,975 ①×②×⑤×⑥/1000

## (ii) 大間地区

区分		備考
平均延べ出漁日数(人・日/年)	①	19,904 ・年間の水揚げ回数：9,952隻・日/年(R4～R6平均) (TAC(漁獲管理情報処理)システムより大間地区) ・平均乗船人数：2人 (漁協ヒアリング調査、令和7年5月)
人工魚礁利用率	②	0.598 魚礁利用率：59.8% (R4～R6年度 漁港漁場整備事業漁場施設管理利用実施報告書)
短縮航行距離(km)	③	12 地区内漁港から天然漁場までの距離－地区内漁港から人工魚礁までの距離
漁船航行速度(km/hr)	④	30 調査日：令和7年5月 調査場所：対象地区内漁協 調査対象者：漁協職員 調査実施者：県職員 調査実施方法：ヒアリング調査(漁船航行速度)
短縮航行時間(時間/日)	⑤	0.80 ③÷④×2(往復)
労務単価(円/h)	⑥	2,365 令和5年漁業経営調査報告(太平洋北區、大臣官房統計部、令和6年9月、農林水産省)から算定
年間便益額(千円/年)	⑦	22,520 ①×②×⑤×⑥/1000

## イ 燃料費の削減

## (i) 今別東部地区

区分		備考
平均延べ出漁日数(隻・日/年)	①	3,566 年間の水揚げ回数(R4～R6平均) (TAC(漁獲管理情報処理)システムより今別東部地区)
人工魚礁利用率	②	0.759 アの(i)②より
短縮航行時間(時間/日)	③	1.0 アの(i)⑤より
1時間当たりの漁船航行燃料費(円/h)	④	2,320.5 ・対象地区の平均的な漁船馬力から使用燃料・燃料消費率を算出 ・単価は青森県建設工事積算基準より軽油単価(R7.9月)
年間便益額(千円/年)	⑤	6,281 ①×②×③×④/1000

## (ii) 大間地区

区分		備考
平均延べ出漁日数(隻・日/年)	①	9,952 年間の水揚げ回数(R4～R6平均) (TAC(漁獲管理情報処理)システムより大間地区)
人工魚礁利用率	②	0.598 アの(ii)②より
短縮航行時間(時間/日)	③	0.8 アの(ii)⑤より
1時間当たりの漁船航行燃料費(円/h)	④	3,867.5 ・対象地区の平均的な漁船馬力から使用燃料・燃料消費率を算出 ・単価は青森県建設工事積算基準より軽油単価(R7.9月)
年間便益額(千円/年)	⑤	18,413 ①×②×③×④/1000

(2) 漁獲可能資源の維持・培養効果

砂礫域に増殖礁を設置することで、ウスマバルを増殖させるとともに、その周辺及び沖合域に魚礁を設置することで、岩礁性魚類を中心に魚類を増集することにより、生産力の増加が見込まれる。

(i) 生産量の増加効果 (今別東部)

区分		備考																																																						
年間の漁獲増加量 (kg)	① 177,145	<ul style="list-style-type: none"> <li>増殖場 (育成場) 及び魚礁の整備量 : 84,758空<sup>3</sup>m (48,485空<sup>3</sup>m (育成礁)+36,273空<sup>3</sup>m (魚礁))</li> <li>原単位 : 津軽海峡地区2.09kg/空<sup>3</sup>m (青森県魅力ある魚礁漁場づくり指針、青森県、令和4年3月)</li> <li>漁獲増加量 : 魚礁整備規模×魚種別単位量割合=84,758空<sup>3</sup>m×2.09kg/空<sup>3</sup>m =177,145kg</li> </ul>																																																						
年間の漁獲増加金額 (千円)	② 156,297	<p>「青森県海面漁業に関する調査結果、青森県、R2～R6」より算定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>漁獲増加量 (全体)</th> <th>魚種別 構成比 (%)</th> <th>増加生産量 (kg)</th> <th>平均単価 (円/kg)</th> <th>増産額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウスマバル</td> <td rowspan="9">177,145</td> <td>8.77%</td> <td>15,535</td> <td>1,176</td> <td>18,269</td> </tr> <tr> <td>ヒラメ</td> <td>25.87%</td> <td>45,830</td> <td>1,261</td> <td>57,792</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>8.13%</td> <td>14,401</td> <td>374</td> <td>5,386</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>14.35%</td> <td>25,415</td> <td>565</td> <td>14,359</td> </tr> <tr> <td>タイ</td> <td>18.95%</td> <td>33,577</td> <td>426</td> <td>14,304</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>2.61%</td> <td>4,620</td> <td>837</td> <td>3,867</td> </tr> <tr> <td>ヤリイカ</td> <td>20.42%</td> <td>36,171</td> <td>1,170</td> <td>42,320</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.90%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>100%</td> <td>175,549</td> <td>-</td> <td>156,297</td> </tr> </tbody> </table>		漁獲増加量 (全体)	魚種別 構成比 (%)	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)	ウスマバル	177,145	8.77%	15,535	1,176	18,269	ヒラメ	25.87%	45,830	1,261	57,792	カレイ類	8.13%	14,401	374	5,386	ソイ類	14.35%	25,415	565	14,359	タイ	18.95%	33,577	426	14,304	アイナメ	2.61%	4,620	837	3,867	ヤリイカ	20.42%	36,171	1,170	42,320	その他	0.90%					合計		100%	175,549	-	156,297
	漁獲増加量 (全体)	魚種別 構成比 (%)	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)																																																			
ウスマバル	177,145	8.77%	15,535	1,176	18,269																																																			
ヒラメ		25.87%	45,830	1,261	57,792																																																			
カレイ類		8.13%	14,401	374	5,386																																																			
ソイ類		14.35%	25,415	565	14,359																																																			
タイ		18.95%	33,577	426	14,304																																																			
アイナメ		2.61%	4,620	837	3,867																																																			
ヤリイカ		20.42%	36,171	1,170	42,320																																																			
その他		0.90%																																																						
合計			100%	175,549	-	156,297																																																		
漁獲経費 (千円)	③ 74,241	漁業変動経費率 (漁船漁業) 47.5% (H31-R5平均値) 「漁業経営調査報告 (経営体階層別、20t未満、漁船漁業)、大臣官房統計部、農林水産省」から算定 ②×0.475																																																						
年間便益額 (千円/年)	82,056	②-③																																																						

(ii) 生産量の増加効果 (大間)

区分		備考																																																						
年間の漁獲増加量 (kg)	① 74,494	<ul style="list-style-type: none"> <li>増殖場 (育成場) 及び魚礁の整備量 : 35,643空<sup>3</sup>m (35,643空<sup>3</sup>m (魚礁))</li> <li>原単位 : 津軽海峡地区2.09kg/空<sup>3</sup>m (青森県魅力ある魚礁漁場づくり指針、青森県、令和4年3月)</li> <li>漁獲増加量 : 魚礁整備規模×魚種別単位量割合=35,643空<sup>3</sup>m×2.09kg/空<sup>3</sup>m =74,494kg</li> </ul>																																																						
年間の漁獲増加金額 (千円)	② 65,670	<p>「青森県海面漁業に関する調査結果、青森県、R2～R6」より算定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>漁獲増加量 (全体)</th> <th>魚種別 構成比 (%)</th> <th>増加生産量 (kg)</th> <th>平均単価 (円/kg)</th> <th>増産額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウスマバル</td> <td rowspan="9">74,494</td> <td>16.71%</td> <td>12,447</td> <td>1,025</td> <td>12,758</td> </tr> <tr> <td>ヒラメ</td> <td>13.48%</td> <td>10,042</td> <td>1,190</td> <td>11,950</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>30.86%</td> <td>22,991</td> <td>723</td> <td>16,622</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>14.45%</td> <td>10,763</td> <td>544</td> <td>5,855</td> </tr> <tr> <td>タイ</td> <td>3.96%</td> <td>2,947</td> <td>643</td> <td>1,895</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>12.62%</td> <td>9,400</td> <td>1,086</td> <td>10,208</td> </tr> <tr> <td>ヤリイカ</td> <td>7.23%</td> <td>5,386</td> <td>1,185</td> <td>6,382</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.69%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>100%</td> <td>73,976</td> <td>-</td> <td>65,670</td> </tr> </tbody> </table>		漁獲増加量 (全体)	魚種別 構成比 (%)	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)	ウスマバル	74,494	16.71%	12,447	1,025	12,758	ヒラメ	13.48%	10,042	1,190	11,950	カレイ類	30.86%	22,991	723	16,622	ソイ類	14.45%	10,763	544	5,855	タイ	3.96%	2,947	643	1,895	アイナメ	12.62%	9,400	1,086	10,208	ヤリイカ	7.23%	5,386	1,185	6,382	その他	0.69%					合計		100%	73,976	-	65,670
	漁獲増加量 (全体)	魚種別 構成比 (%)	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)																																																			
ウスマバル	74,494	16.71%	12,447	1,025	12,758																																																			
ヒラメ		13.48%	10,042	1,190	11,950																																																			
カレイ類		30.86%	22,991	723	16,622																																																			
ソイ類		14.45%	10,763	544	5,855																																																			
タイ		3.96%	2,947	643	1,895																																																			
アイナメ		12.62%	9,400	1,086	10,208																																																			
ヤリイカ		7.23%	5,386	1,185	6,382																																																			
その他		0.69%																																																						
合計			100%	73,976	-	65,670																																																		
漁獲経費 (千円)	③ 31,193	漁業変動経費率 (漁船漁業) 47.5% (H31-R5平均値) 「漁業経営調査報告 (経営体階層別、20t未満、漁船漁業)、大臣官房統計部、農林水産省」から算定 ②×0.475																																																						
年間便益額 (千円/年)	34,477	②-③																																																						

## (3) 漁業外産業への効果

漁獲量の増加分に係る流通業者等に帰属する便益の発生が見込まれる。

## (i) 出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (今別東部)

区分		備考																																																						
増加出荷量 (kg)	①	175,549 (2)の(i)の①より																																																						
年間の漁獲増加金額 (千円)	②	83,033 <p>a: (2)の(i)の②より b: 「東京都中央卸売市場(築地市場・豊洲市場)統計年報、東京都、R2～R6」より算定 ※ソイ類は「札幌市中央卸売市場年報、札幌市、R2～R6」より算定 c: 「青森県海面漁業に関する調査結果、青森県、R2～R6」より算定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a 増加生産量 (kg)</th> <th>b 出荷先市場 価格(円/kg)</th> <th>c 産地市場 価格(円/kg)</th> <th>b-c</th> <th>増産額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウスメバル</td> <td>15,535</td> <td>1,414</td> <td>1,176</td> <td>238</td> <td>3,697</td> </tr> <tr> <td>ヒラメ</td> <td>45,830</td> <td>1,476</td> <td>1,261</td> <td>215</td> <td>9,853</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>14,401</td> <td>874</td> <td>374</td> <td>500</td> <td>7,201</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>25,415</td> <td>1,836</td> <td>565</td> <td>1,271</td> <td>32,302</td> </tr> <tr> <td>タイ</td> <td>33,577</td> <td>935</td> <td>426</td> <td>509</td> <td>17,091</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>4,620</td> <td>1,607</td> <td>837</td> <td>770</td> <td>3,557</td> </tr> <tr> <td>ヤリイカ</td> <td>36,171</td> <td>1,428</td> <td>1,170</td> <td>258</td> <td>9,332</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>83,033</td> </tr> </tbody> </table>		a 増加生産量 (kg)	b 出荷先市場 価格(円/kg)	c 産地市場 価格(円/kg)	b-c	増産額 (千円)	ウスメバル	15,535	1,414	1,176	238	3,697	ヒラメ	45,830	1,476	1,261	215	9,853	カレイ類	14,401	874	374	500	7,201	ソイ類	25,415	1,836	565	1,271	32,302	タイ	33,577	935	426	509	17,091	アイナメ	4,620	1,607	837	770	3,557	ヤリイカ	36,171	1,428	1,170	258	9,332	合計	-	-	-	-	83,033
	a 増加生産量 (kg)	b 出荷先市場 価格(円/kg)	c 産地市場 価格(円/kg)	b-c	増産額 (千円)																																																			
ウスメバル	15,535	1,414	1,176	238	3,697																																																			
ヒラメ	45,830	1,476	1,261	215	9,853																																																			
カレイ類	14,401	874	374	500	7,201																																																			
ソイ類	25,415	1,836	565	1,271	32,302																																																			
タイ	33,577	935	426	509	17,091																																																			
アイナメ	4,620	1,607	837	770	3,557																																																			
ヤリイカ	36,171	1,428	1,170	258	9,332																																																			
合計	-	-	-	-	83,033																																																			
所得率 (%)	③	33.1 「個人企業経済調査(R2～R6)」より算定																																																						
年間便益額 (千円/年)		27,484 ②×③/100																																																						

## (ii) 出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (大間)

区分		備考																																																						
増加出荷量 (kg)	①	73,976 (2)の(ii)の①より																																																						
年間の漁獲増加金額 (千円)	②	32,159 <p>a: (2)の(ii)の②より b: 「東京都中央卸売市場(築地市場・豊洲市場)統計年報、東京都、R2～R6」より算定 ※ソイ類は「札幌市中央卸売市場年報、札幌市、R2～R6」より算定 c: 「青森県海面漁業に関する調査結果、青森県、R2～R6」より算定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a 増加生産量 (kg)</th> <th>b 出荷先市場 価格(円/kg)</th> <th>c 産地市場 価格(円/kg)</th> <th>b-c</th> <th>増産額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウスメバル</td> <td>12,447</td> <td>1,414</td> <td>1,025</td> <td>389</td> <td>4,842</td> </tr> <tr> <td>ヒラメ</td> <td>10,042</td> <td>1,476</td> <td>1,190</td> <td>286</td> <td>2,872</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>22,991</td> <td>874</td> <td>723</td> <td>151</td> <td>3,472</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>10,763</td> <td>1,836</td> <td>544</td> <td>1,292</td> <td>13,906</td> </tr> <tr> <td>タイ</td> <td>2,947</td> <td>935</td> <td>643</td> <td>292</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>9,400</td> <td>1,607</td> <td>1,086</td> <td>521</td> <td>4,897</td> </tr> <tr> <td>ヤリイカ</td> <td>5,386</td> <td>1,428</td> <td>1,185</td> <td>243</td> <td>1,309</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>32,159</td> </tr> </tbody> </table>		a 増加生産量 (kg)	b 出荷先市場 価格(円/kg)	c 産地市場 価格(円/kg)	b-c	増産額 (千円)	ウスメバル	12,447	1,414	1,025	389	4,842	ヒラメ	10,042	1,476	1,190	286	2,872	カレイ類	22,991	874	723	151	3,472	ソイ類	10,763	1,836	544	1,292	13,906	タイ	2,947	935	643	292	861	アイナメ	9,400	1,607	1,086	521	4,897	ヤリイカ	5,386	1,428	1,185	243	1,309	合計	-	-	-	-	32,159
	a 増加生産量 (kg)	b 出荷先市場 価格(円/kg)	c 産地市場 価格(円/kg)	b-c	増産額 (千円)																																																			
ウスメバル	12,447	1,414	1,025	389	4,842																																																			
ヒラメ	10,042	1,476	1,190	286	2,872																																																			
カレイ類	22,991	874	723	151	3,472																																																			
ソイ類	10,763	1,836	544	1,292	13,906																																																			
タイ	2,947	935	643	292	861																																																			
アイナメ	9,400	1,607	1,086	521	4,897																																																			
ヤリイカ	5,386	1,428	1,185	243	1,309																																																			
合計	-	-	-	-	32,159																																																			
所得率 (%)	③	33.1 「個人企業経済調査(R2～R6)」より算定																																																						
年間便益額 (千円/年)		10,645 ②×③/100																																																						